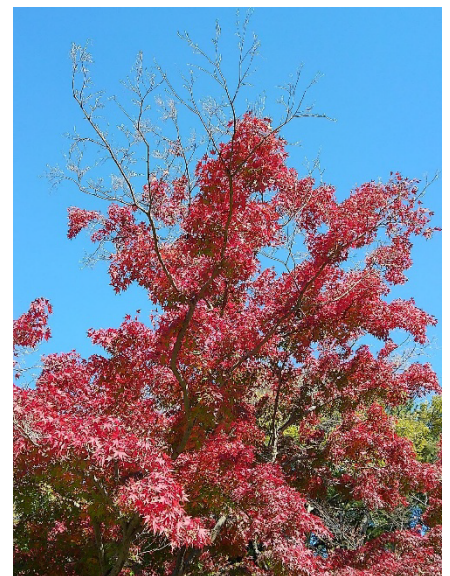


留学体験作文 フレス リヴィア

日本に来てから4月もう過ぎました。早かったが、満足できました。日本に始めて来た時に、夏の終わりの蒸し暑さが自分を^{かんげい}歓迎しました。小さい田舎から来る自分が東京のような大きな都市に引っ越すことは難しいと思ったが、お茶大のキャンパスに行ったとたん、木の内に迷ってすぐに心の中に^{いごこち}居心地を見つけられました。鳩、小鳥、ネズミ、コイや亀も発見するのは毎日笑顔になりました。



赤くなった葉っぱの時には、徐々に大切な友達ができ、授業と先生も会い始めました。皆の優しさのおかげで心も落ちつきしました。専門の黄色の落ち葉がだんだん積もりながら、日本語で話すこと、日本語を分かることも上達しました。お茶大に来たから、日本語で話せる機会が多く、自然によくなりました。もちろん、日本語と日本の文化の授業を受けることもその改善の原因で、先生に対して強く感謝しています。これのおかげで自分に自信も強くなってい



き、九月の自分に考えると、誇ってなりません。

友達のおかげで他の国のことについて発見したものが多く、その上心細くないと感じられました。最後の4月間はとても楽しく、東京とかレストランなどを一緒に見つけるのは面白かったと思います。その楽しい思い出を将来に大事にしていけます。もう冬が来たのに、温かくなったと感じます。

出水さんというチューターに喋る時も充実しました。研究の対象を分かち合っているので、永い時間にこのテーマについて話すのはとても楽しかったです。出水さんに対してすごく感謝しています。

Tandem というプログラムのおかげで、理子さんに話し始めました。いつも自分の質問を聞いたり、答えたり、英語にペラペラしたいなのにフランスにも興味を持ったり、一緒に出掛けたりしましたので、感動し、感謝してなりません。未来にもいろいろな思い出が作られる希望を持っています。

最後に、お礼を述べて行きたいと思います。最初に、音羽間の管理室の方へ、自分の質問を答えてくださって、困った時手伝ってくださってありがとうございました。次に、自分の指導教員である石丸先生へ、忙しかったなと思うのに、毎月の振り返りシートを読んでくださって、同窓会にも誘ってくださってありがとうございました。最後に、萩原先生へ、Homeroom を準備して、交換留学生を手伝ってくださ

ってありがとうございました。

日本の春を発見したい気持ちで来学期にもどうぞよろしくお願いいたします。